TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT 東京都

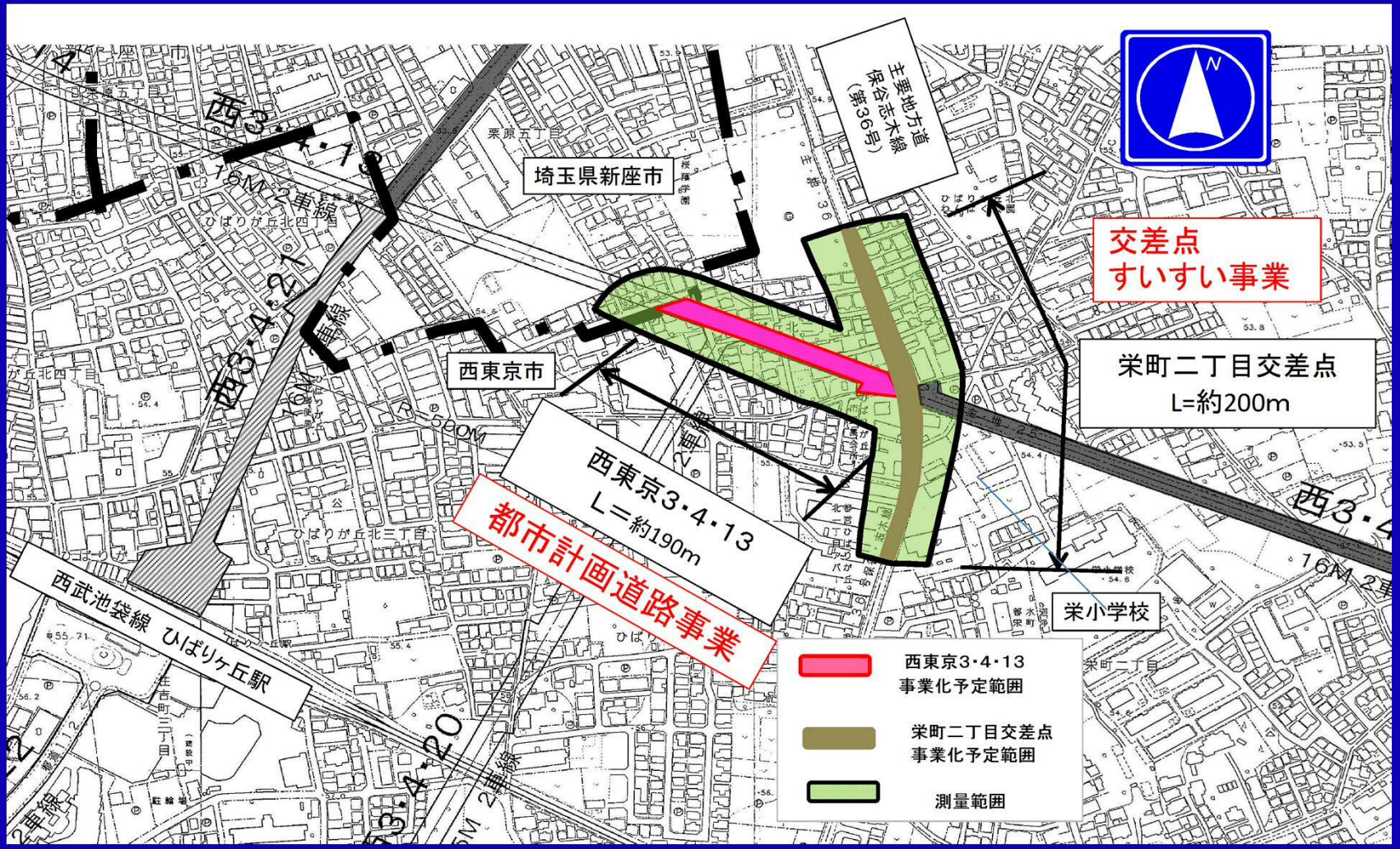
事業概要及び測量説明会

西東京都市計画道路3･4･13号保谷秋津線整備事業

東京都北多摩南部建設事務所

TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT 東京都

今回の道路事業について

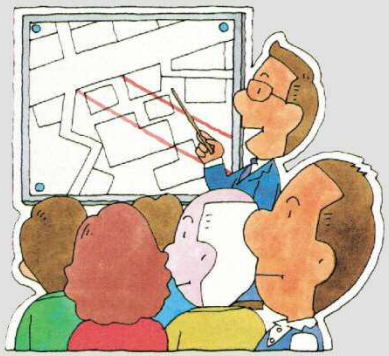


TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT 東京都

道路ができるまで

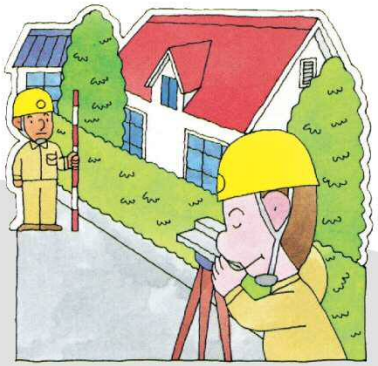
TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT 東京都

❶事業概要および測量説明会の 開催



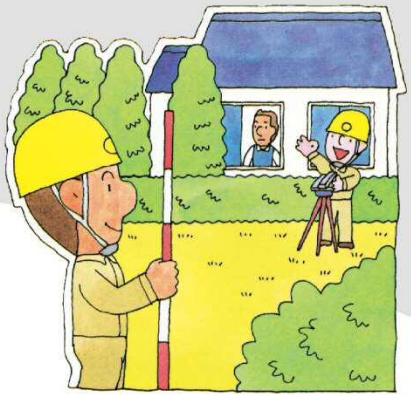
計画道路の沿道の皆さまにご理解をいただくため、事業概要および測量についての説明を行います。なお、チラシの配布により説明会に代えさせていただく場合もございます。

❷現況測量の実施



この測量により、計画道路の位置がはっきりします。

❸用地測量の実施



この測量により、買収させていただく土地の面積が確定します。

❹事業着手の手続 き

都市計画法第59条により、事業着手の手続きをとります。

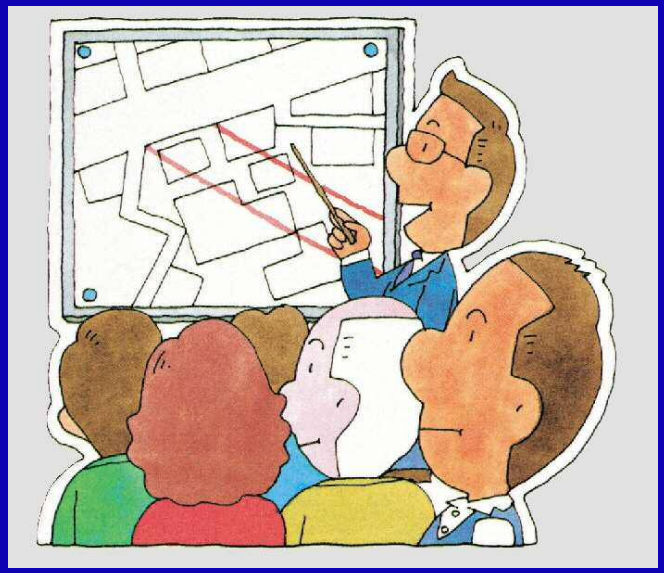
❺用地説明会の 開催

用地買収の対象となる皆さま（アパートなどの居住者の皆さまも含まれます。）に具体的な補償について説明します。また、家屋補償についても説明します。

おおむね2年

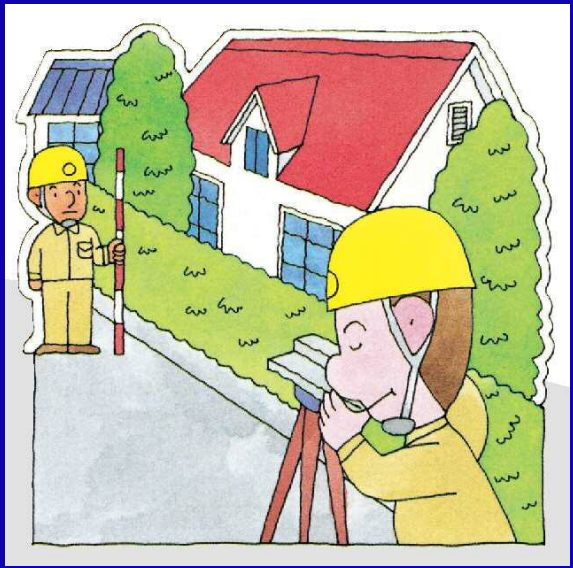
TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT 東京都

①事業概要及び測量説明会の開催



計画道路の沿道の皆さまにご理解をいただくため、事業概要および測量についての説明を行います。

②現況測量の実施

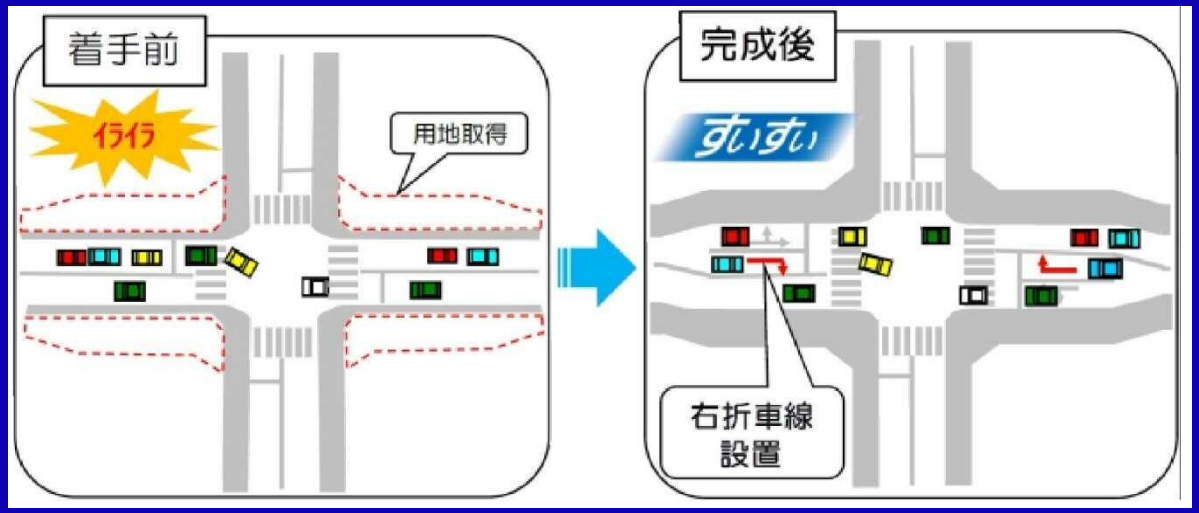


この測量により、計画道路（西東京３・４・１３）の位置がはっきりします。

また交差点設計（栄町二丁目交差点）の基本資料となります。

②交差点設計

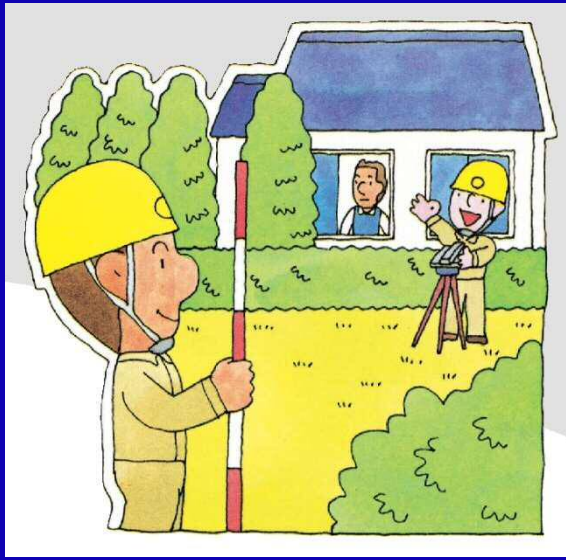
交差点改良（イメージ図）



現況測量をもとに交差点改良（右折レーン設置）の設計を行います。

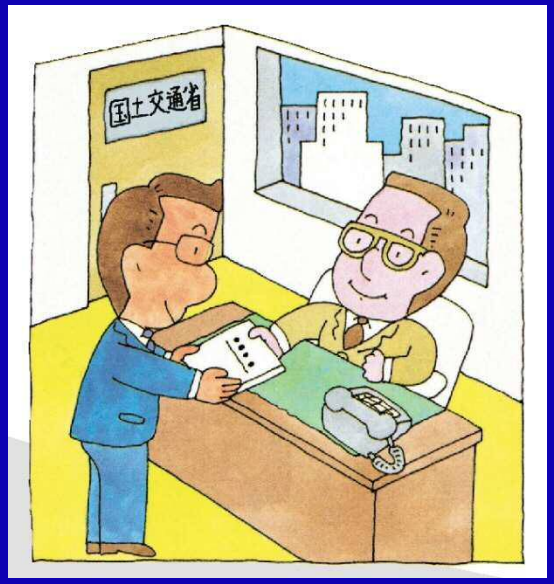
ここで交差点拡幅位置がはっきりします。

③用地測量の実施



この測量により、取得させていただく
土地の面積が確定します。

④事業着手の手続き



都市計画法第５９条により、事業着手の手続きをとります。（西東京３・４・１３）

⑤用地説明会の開催

　用地取得の対象となる皆さま（アパートなどの居住者の皆さまも含まれます。）に具体的な補償について説明します。

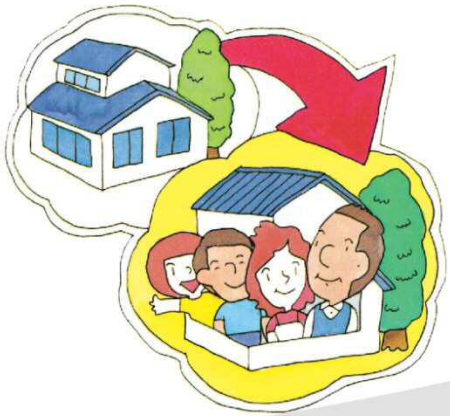
　また、家屋補償についても説明します。

TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT 東京都

⑥用地折衝・協議

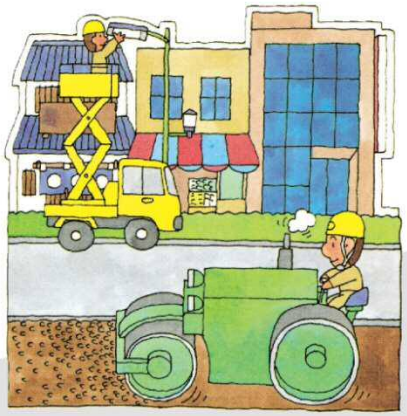
対象となる皆さまと、土地の取得・家屋移転などについて、個別に協議させていただきます。

⑧物件移転



買収させていただく土地にある家屋などの物件を移転していただきます。

⑩工事の実施



沿道の皆さまに、できるだけご迷惑のかからないように工事を行います。

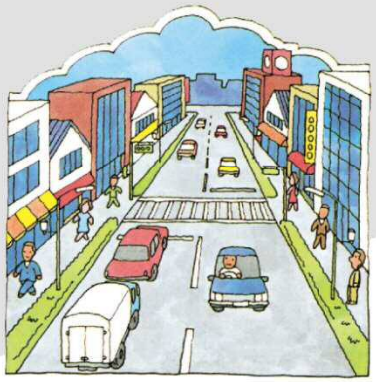
⑦契約・補償金の支払い

話し合いがまとまりますと、契約をとりかわし、補償金をお支払いします。

⑨工事説明会

沿道の皆さまに、工事計画の概要を説明します。なお、チラシの配布により説明会に代えさせていただく場合もございます。

⑪都市計画道路の完成



多くの皆さまのご理解とご協力により、都市計画道路が完成します。

おおむね5～7年

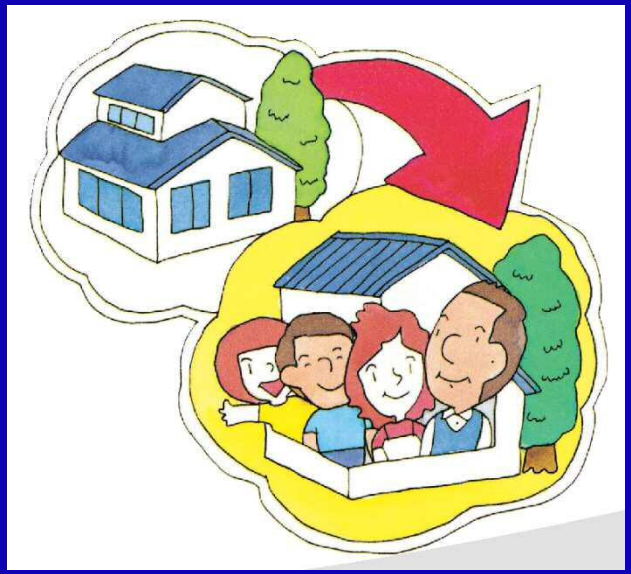
⑥用地折衝･協議

　対象となる皆さまと、土地の取得・家屋移転などについて、個別に協議させていただきます。

⑦契約･補償金の支払い

　話し合いがまとまりますと、契約をとりかわし、補償金をお支払いします。

⑧物件移転



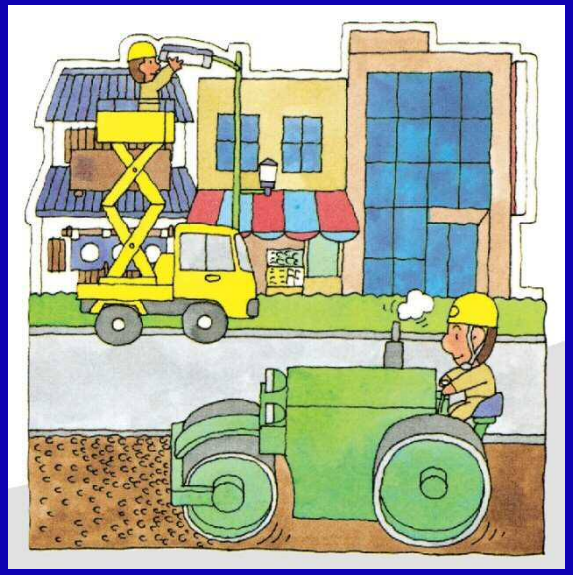
　取得させていただく土地にある家屋などの物件を移転していただきます。

⑨工事説明会

　沿道の皆さまに、工事計画の概要を説明します。

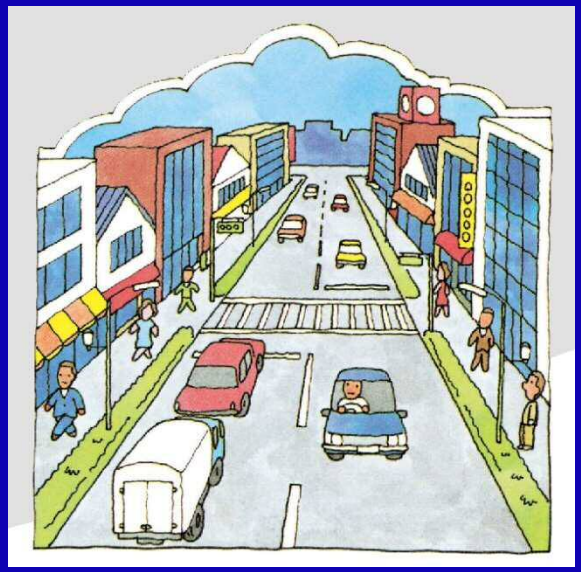
　なお、チラシの配布により説明会に代えさせていただく場合もございます。

⑩工事の実施



沿道の皆さまに、できるだけご迷惑のかからないように工事を行います。

⑪都市計画道路の完成



多くの皆さまのご理解とご協力により、都市計画道路が完成します。

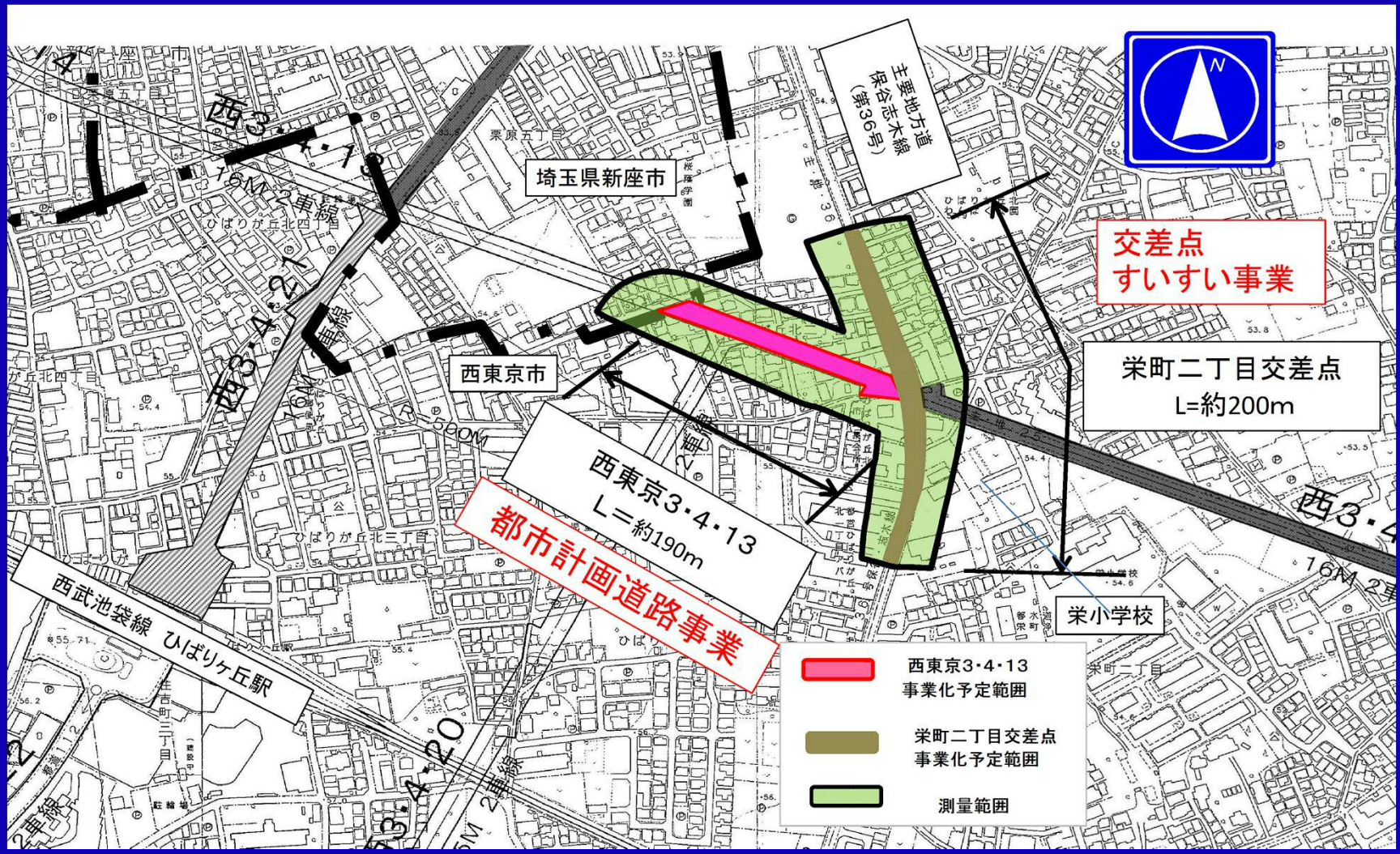
TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT 東京都

事　業　概　要

西東京都市計画道路3･4･13号保谷秋津線

TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT 東京都

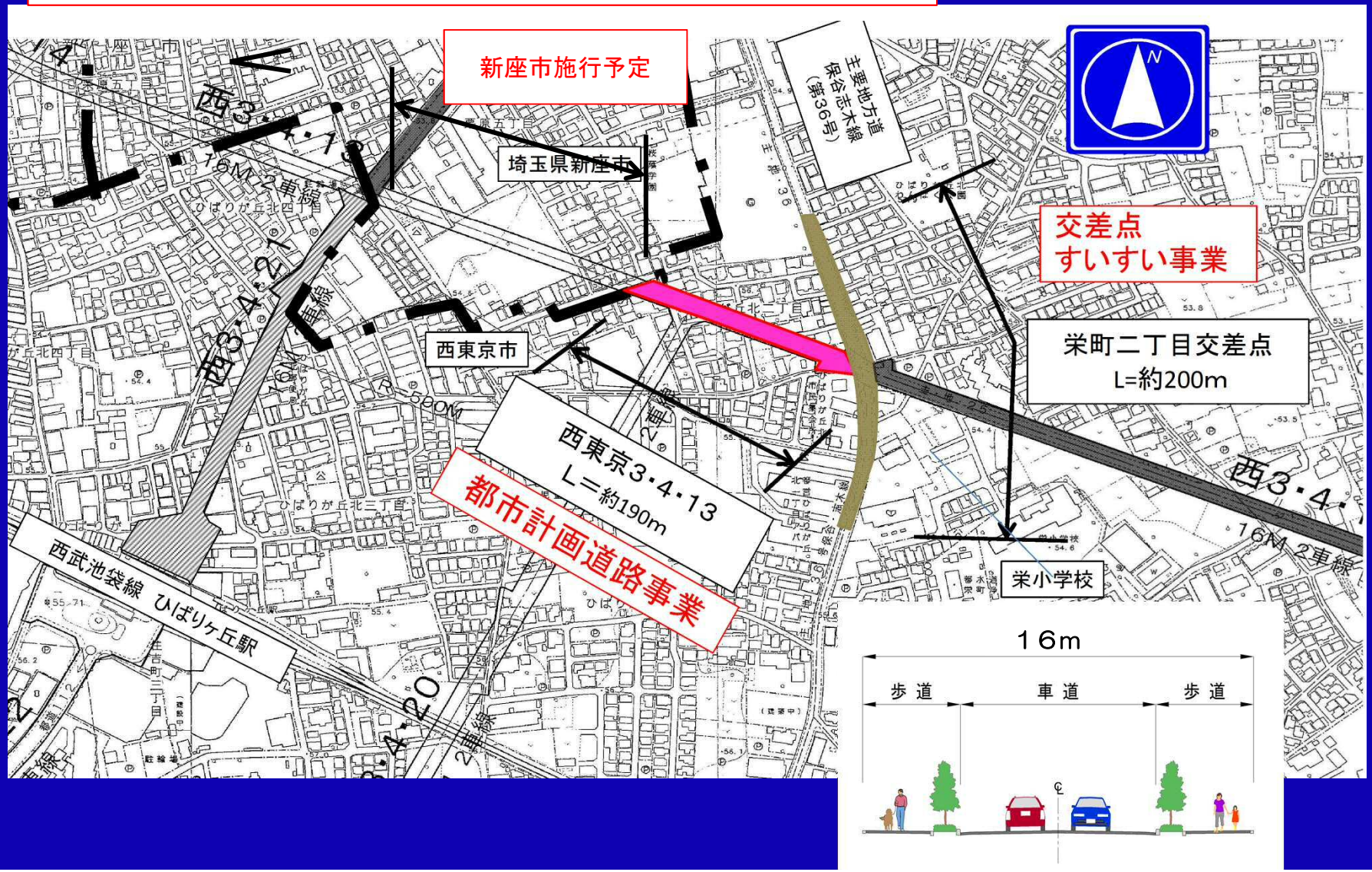
路線の概要（位置図）



TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT 東京都

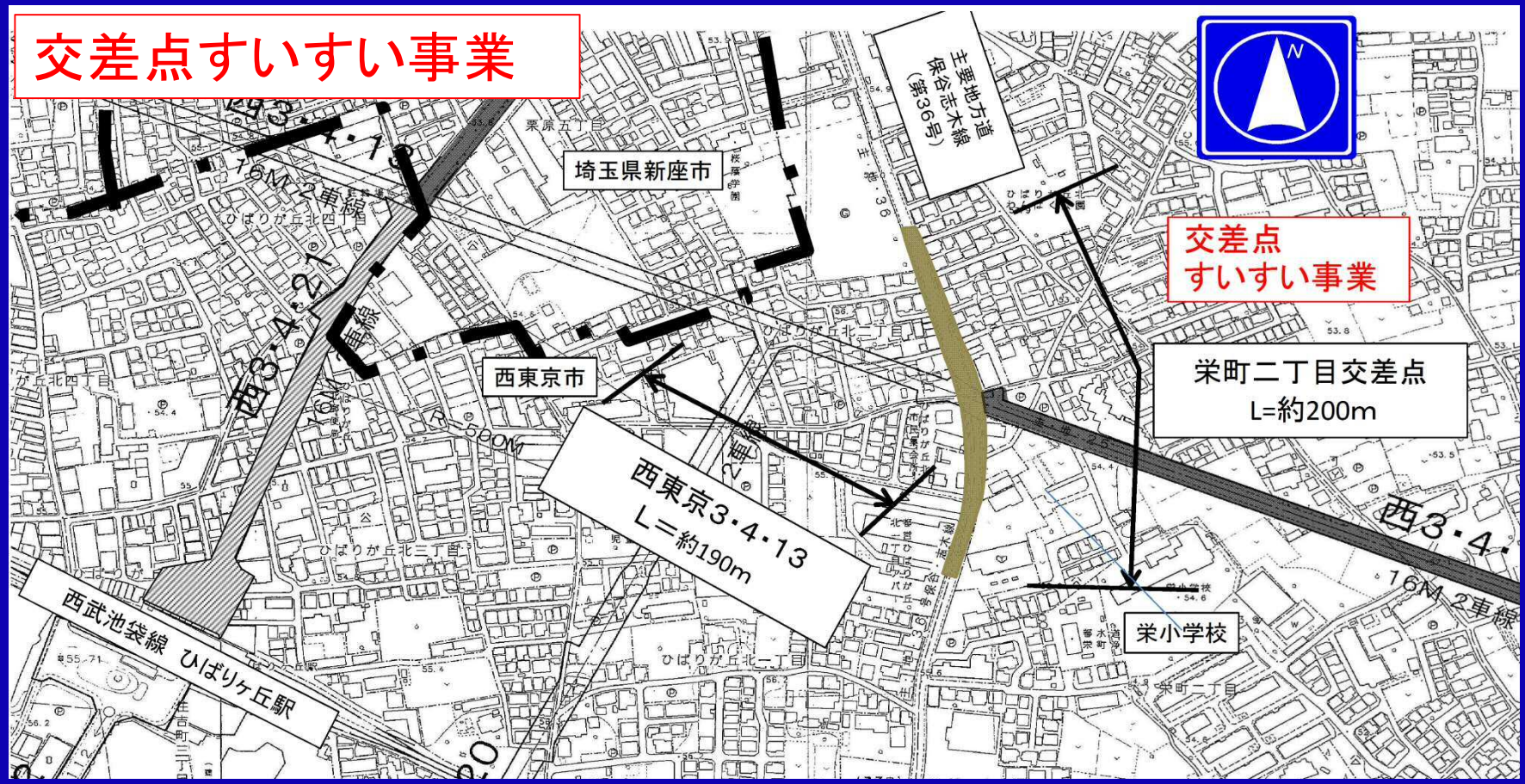
事業区間平面図

西東京3･4･13号線都市計画道路事業



TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT 東京都

事業区間平面図



事業の範囲は現況測量後、設計・協議を行った後に、決定します。

TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT 東京都

事業の効果

○都市計画道路
- 良好な都市景観の創出
- 都市防災機能の強化
- 安全で快適な道路空間の確保

○交差点すいすい
- 右折レーンを設置し、渋滞を緩和

TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT 東京都

事業の効果

良好な都市景観の創出

整備前

整備後

都市防災機能の強化

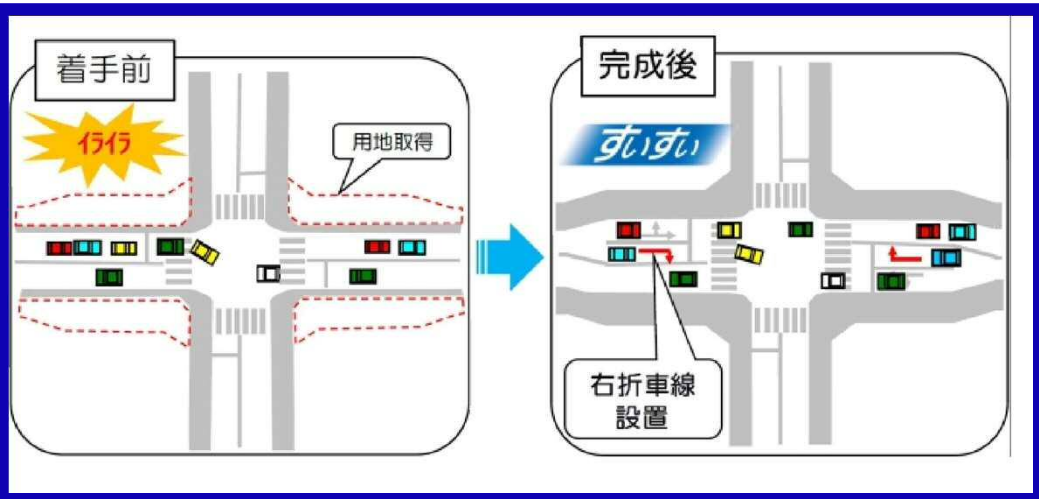
阪神・淡路大震災で倒壊した電柱

（出典：国土交通省ホームページ）

（出典：財団法人地震予知総合研究振興会資料）

安全・快適な歩行空間の確保

右折レーンを設置し、渋滞を緩和



【整備効果の事例】上川橋交差点（八王子市　主要地方道32号　八王子五日市線（秋川街道））
平成20年度完成

TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT 東京都

測量について

（現況測量
用地測量）

2017. 3. 27
西東京都市計画道路3・4・13号保谷秋津線
事業概要及び測量説明会

現況測量と用地測量について

◆ 現況測量の目的

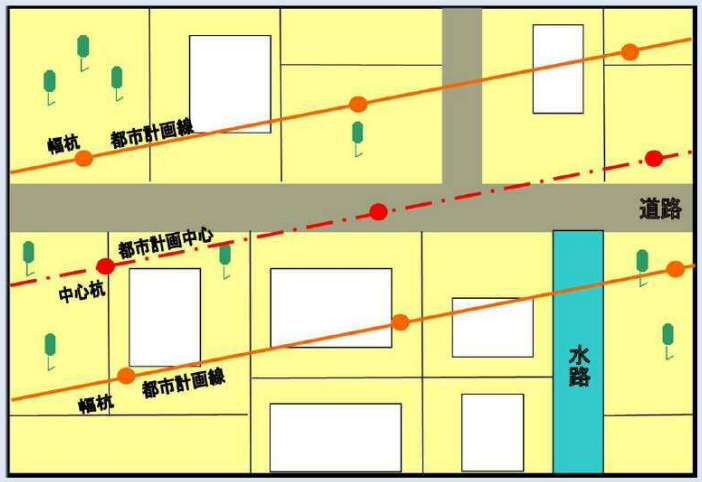
現況測量では、事業予定地周辺にある皆様方の土地や建物の位置、周辺道路の形状などを測量し、現況平面図を作成します。

さらに、その図面に都市計画線を重ね、土地、建物等との位置関係を明らかにします。ただし、交差点すいすい事業の範囲は、この段階では決定していません。

◆ 現況測量の流れ

1. 測量の基準となる点の設置
2. 皆様方の土地や建物、道路等の位置の測量
3. 都市計画道路の中心杭および幅杭の設置
4. 都市計画道路の縦断及び横断方向の高さの測量

◆ 現況平面図（都市計画道路部分のイメージ図）



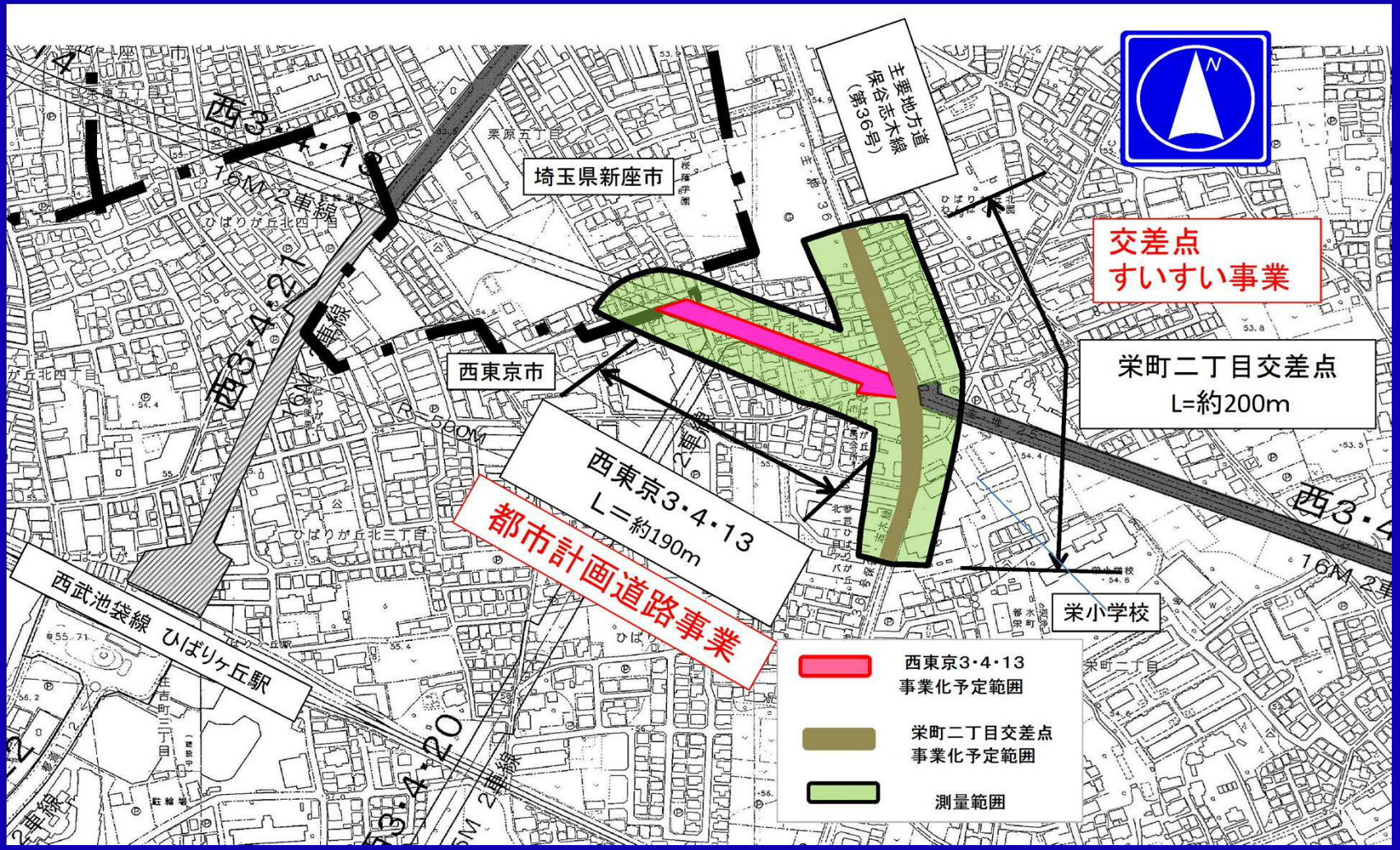
現況測量の目的

現況測量では事業予定地の周辺にある皆様方の土地や建物の位置、周辺道路の形状などを測量し、現況平面図を作成します。

さらに、その図面に都市計画線を重ね、土地、建物等との位置関係を明らかにします。

TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT 東京都

現況測量範囲



注）土地、建物及び道路の形状等により、測量範囲がこの図と異なる場合がありますので、ご了承ください。

TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT 東京都

現況測量の流れ

1. 測量の基準となる点の設置

↓

2. 皆様方の土地や建物、道路等の位置の測量

↓

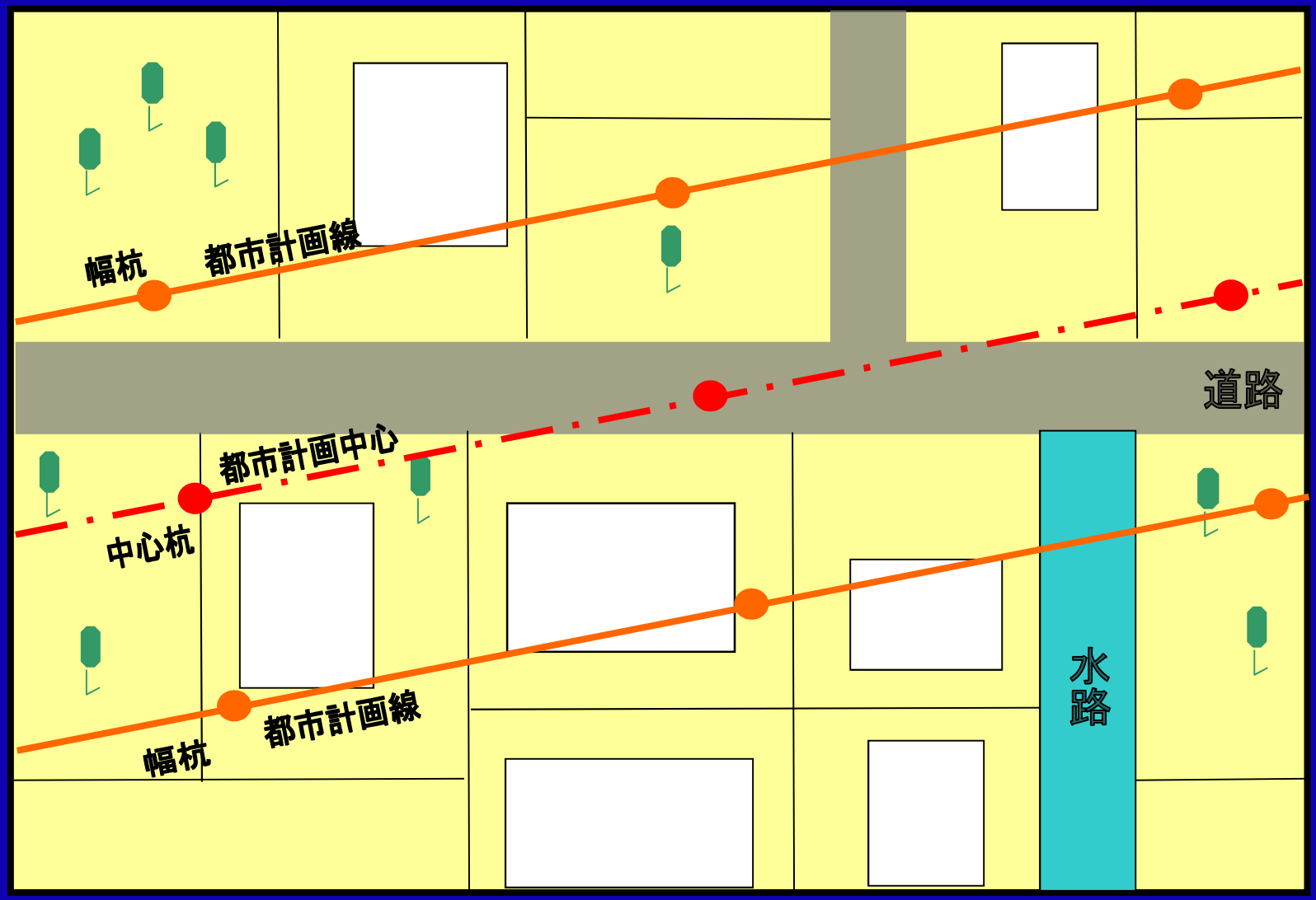
3. 都市計画道路の中心杭および幅杭の設置

↓

4. 都市計画道路の縦断および横断方向の高さの測量

TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT 東京都

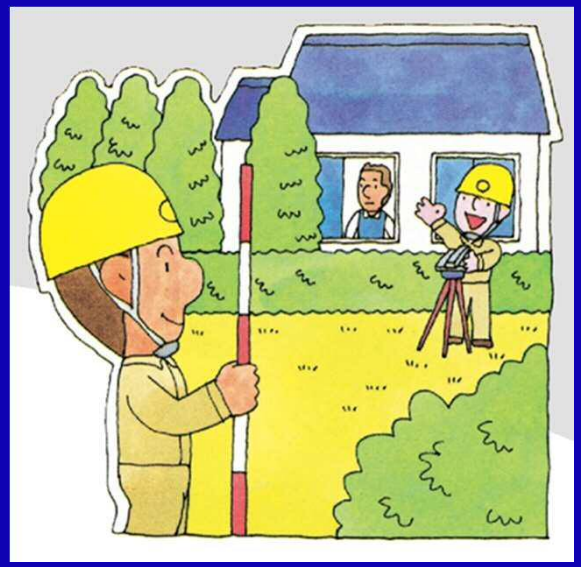
現況平面図（イメージ図）



TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT 東京都

用地測量の目的

この測量は、道路として取得させていただく土地の面積を求めることを目的としています。



◆ 用地測量の目的

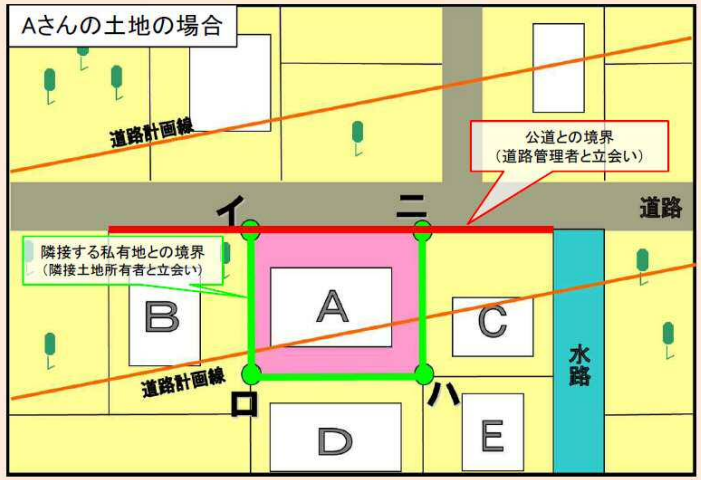
用地測量は、道路として取得させていただく土地の面積を求めることを目的としています。このため、道路を整備するために必要となる土地について、周辺の土地との境界を確認し、境界点の測量を行います。

なお、交差点すいすい事業の範囲は、この段階で現地に標示します。

◆ 用地測量の流れ

1. 境界を確認するための資料収集等
2. 境界を確認するための現地立会い
3. 境界点の測量
4. 個々の土地における道路予定地面積の確定

◆ 土地の境界確認



- 現況測量、用地測量の作業にあたっては、都市計画道路周辺の皆様の敷地内へ立ち入らせていただく必要があります。
- 皆様の敷地内に立ち入る際には、必ずお声がけ等をいたしますので、ご協力をお願いいたします。
- 測量作業は、東京都が委託した測量会社が行います。
- 測量にあたっては、身分証明書を常に携帯し、腕章をつけて作業を行います。

東京都北多摩南部建設事務所

TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT 東京都

用地測量の流れ

1. 境界を確認するための資料収集等

↓

2. 境界を確認するための現地立会い

↓

3. 境界点の測量

↓

4. 個々の土地における道路予定地面積の確定

１．境界を確認するための資料収集等

（1）土地の境界を確認するために必要な公図や土地登記簿等を登記所などから取得します。

（2）皆様方の敷地内で、既存の境界標識などを確認させていただきます。

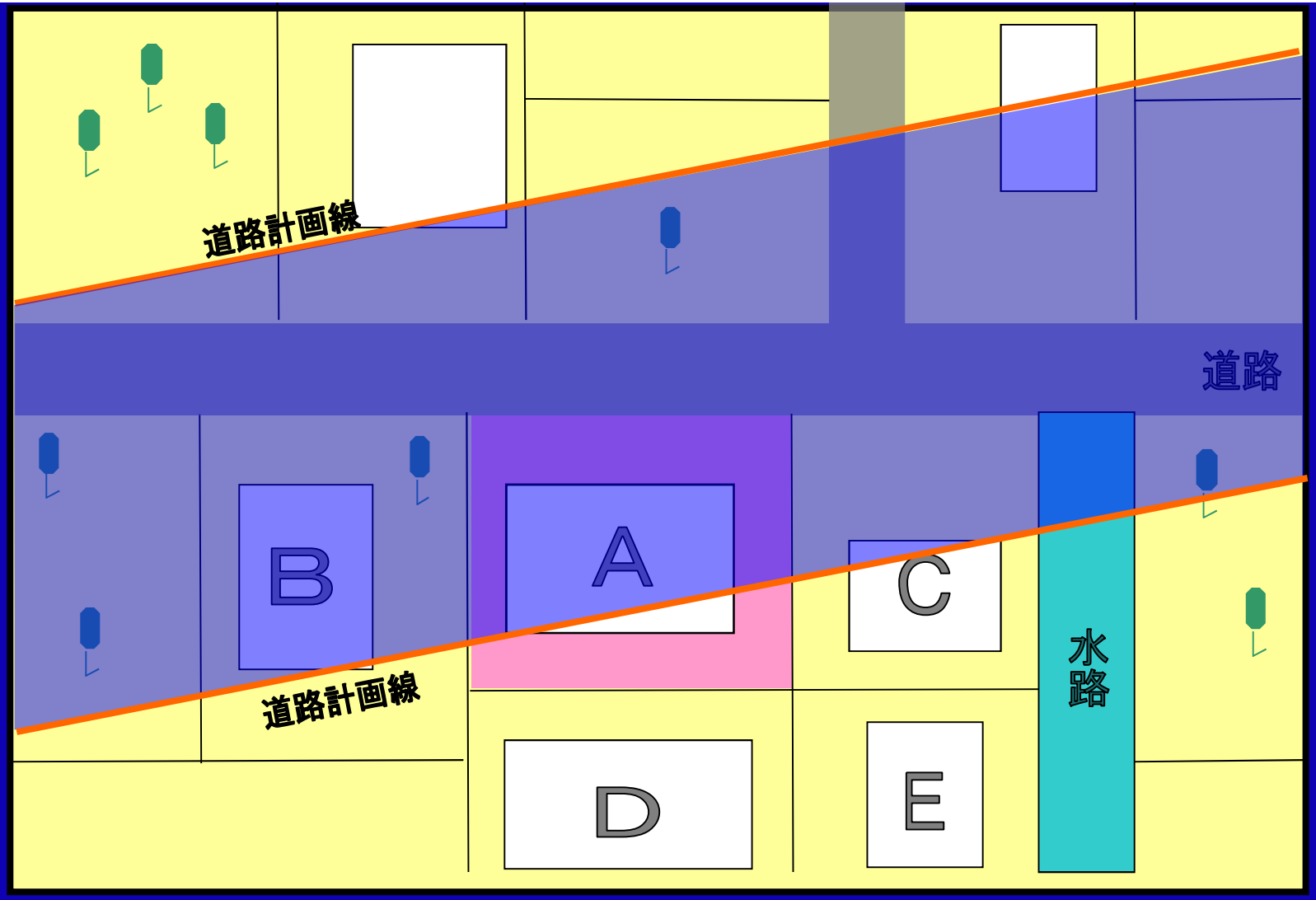
TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT 東京都

２．境界を確認するための現地立会い

（1）現在ある道路などの公共用地と
　　私有地との境界の確認

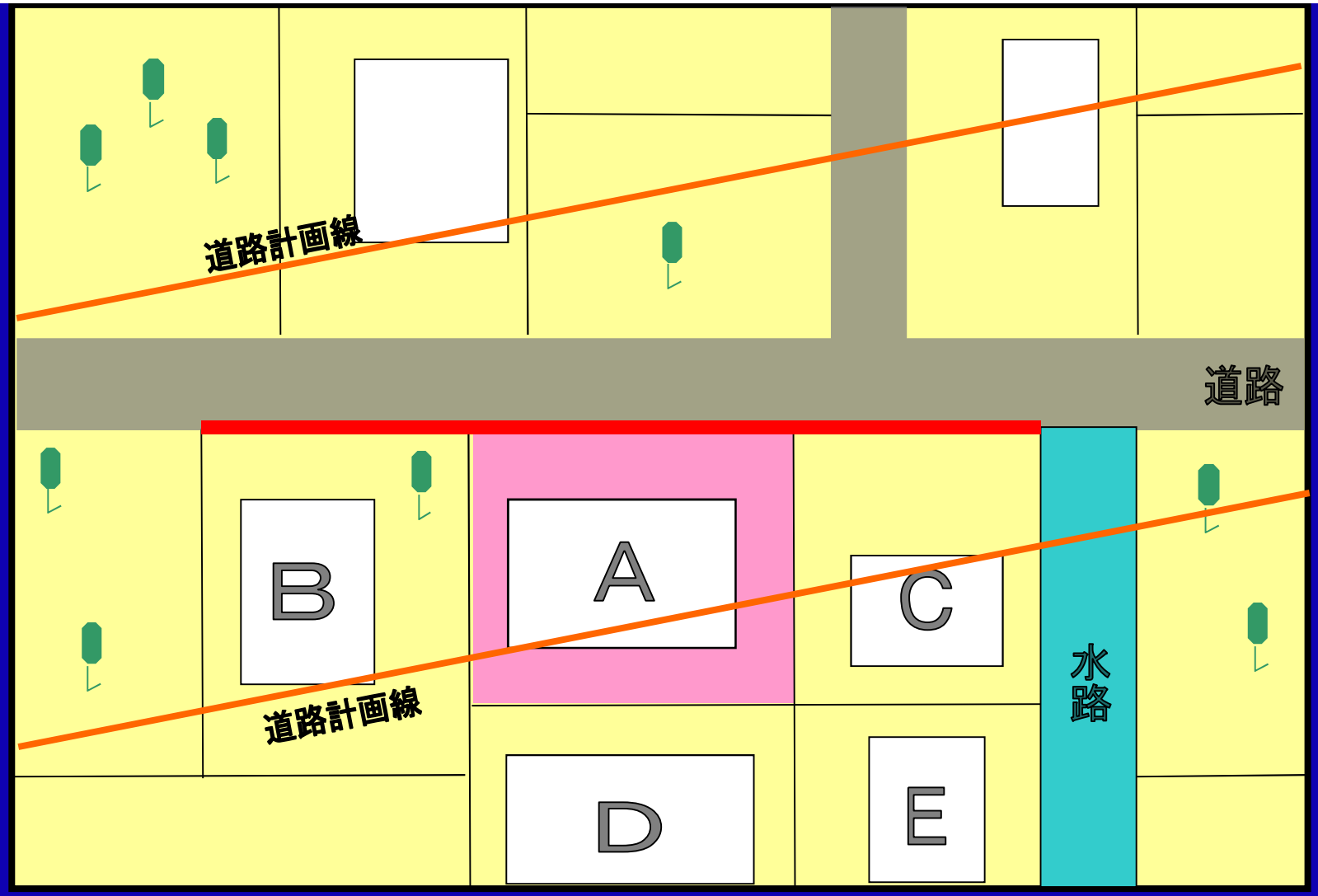
（2）私有地と私有地との境界の確認

境界確認の手順（Ａさんの場合）

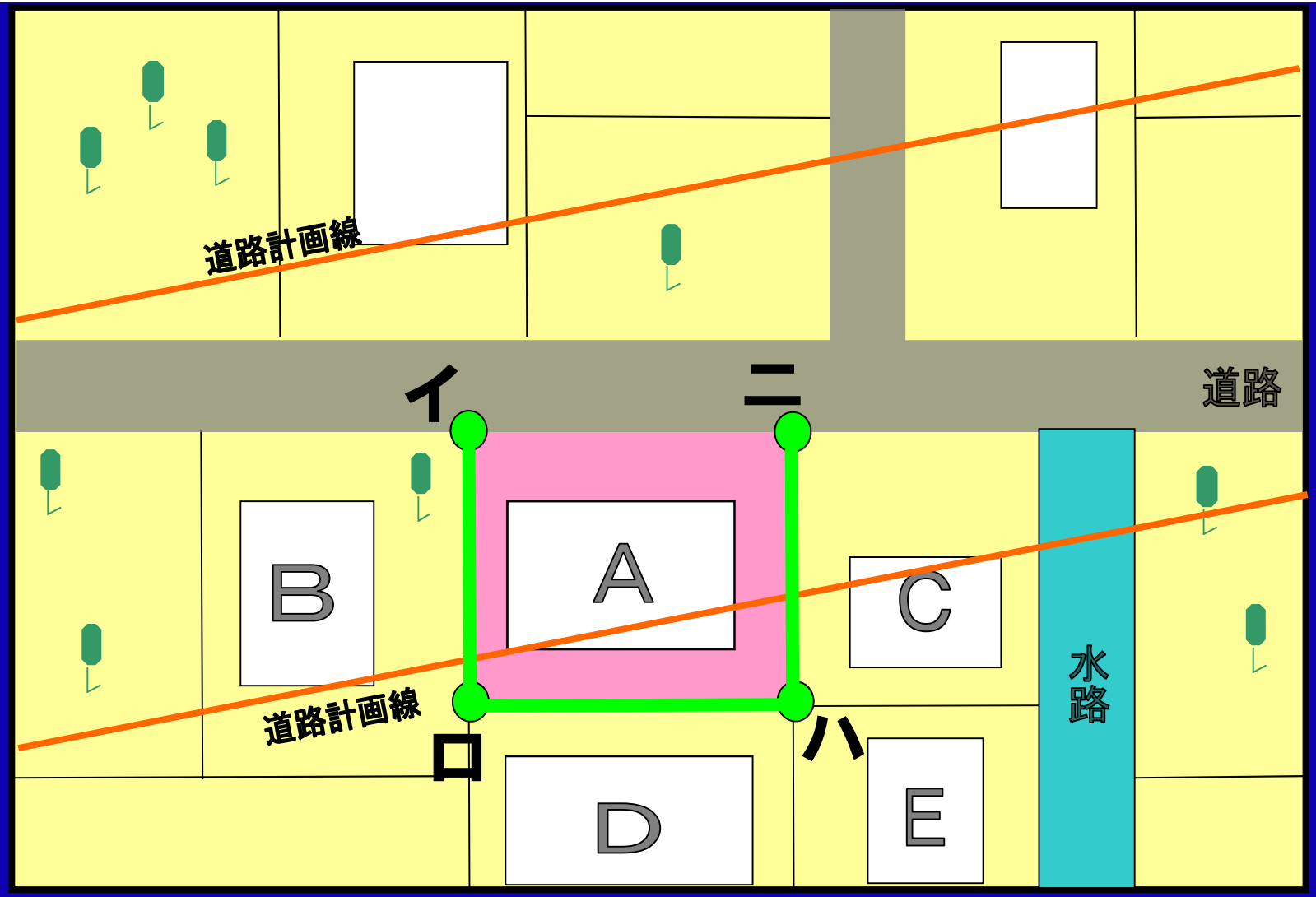


TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT 東京都

公共用地と私有地との境界確認



私有地と私有地との境界確認



境界立会いの通知について

割印

〇北南建エ一第〇〇〇号
平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇 〇〇 様

東京都北多摩南部建設事務所
所　長

土地境界の立会確認のお願い

皆様方には、日頃より東京都の道路行政に対するご理解とご協力ありがとうございます。

このたび、都市計画道路〇・〇・〇号線の整備事業による用地測量作業に伴い、あなた様の所有されている土地と、隣接する土地との境界を現地でご確認下さるようお願い致します。

お忙しい中、誠に恐縮ではありますが、下記の場所・日時にお立会下さるようご通知させて頂きます。

見　本

記

土地の所在　〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番
立会の日時　平成〇〇年〇〇月〇〇日（〇）午前〇〇時〇〇分から

立会いに際しましては

- ○ この通知書と印鑑（認印）をご持参下さい。
- ○ 代理人に立会わせる場合は、別紙委任状に記入・押印のうえご持参ください。
- ○ 所有されている土地を貸している方は、借地人の方への連絡をお願いします。
- ○ ご都合の悪い方は、日時等の調整を行いますので、下記の担当者までご連絡下さい。
- ○ 小雨の場合は決行いたします。

公印

担当者　〒183-0006　東京都府中市緑町 1-27-1
東京都北多摩南部建設事務所
工事第一課　測量担当　〇〇〇〇
電　話　〇〇〇－〇〇〇－〇〇〇〇
測量会社　株式会社　〇〇〇〇　担当者　〇〇〇〇
電　話　〇〇〇－〇〇〇－〇〇〇〇

平成　　年　　月　　日

東京都北多摩南部建設事務所長 殿

委　任　状

私は(住 所)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

見　本

(氏 名)

を代理人と定め、下記の事項を委任します。

記

（土地所在・地番）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

の土地境界の立会・確認・承認の権限

住　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞

電　話

立会証明書

別紙第9号様式(第32条関係)　　嘱託登記用

立 会 証 明 書

土地の表示　　〇〇市〇〇町五丁目63

上記の土地を測量するに当たり、下記のとおり隣接所有者と立会いし、土地の筆界について異議なく確認されたものである。

隣接地番	所有権者	立会人 住所(上) 氏名(下)	所有者との関係	確認年月日	押印
63	東京太郎	〇〇市〇〇町〇ー〇ー〇 東京　太郎	本人	平成 19年 7月 19日	㊞
64-9	〇〇〇〇	〇〇市〇〇町〇ー〇ー〇 〇〇　〇〇	本人	平成 19年 8月 1日	㊞
62－2 (市道)	〇〇市	別添境界確定図のとおり(市道第〇〇号線)		年 月 日	
無番地 (都道)	東京都	東京都〇〇建設事務所 管理課 主事 〇〇 〇〇	処理担当者	平成 19年 7月 19日	㊞
無番地 (河川)	東京都	別添河川区域確定図のとおり(〇〇川)		年 月 日	
				年 月 日	
				年 月 日	
				年 月 日	

見　本

本立会証明書のとおり立会いの事実を確認し、測量をしたものであることを証明します。

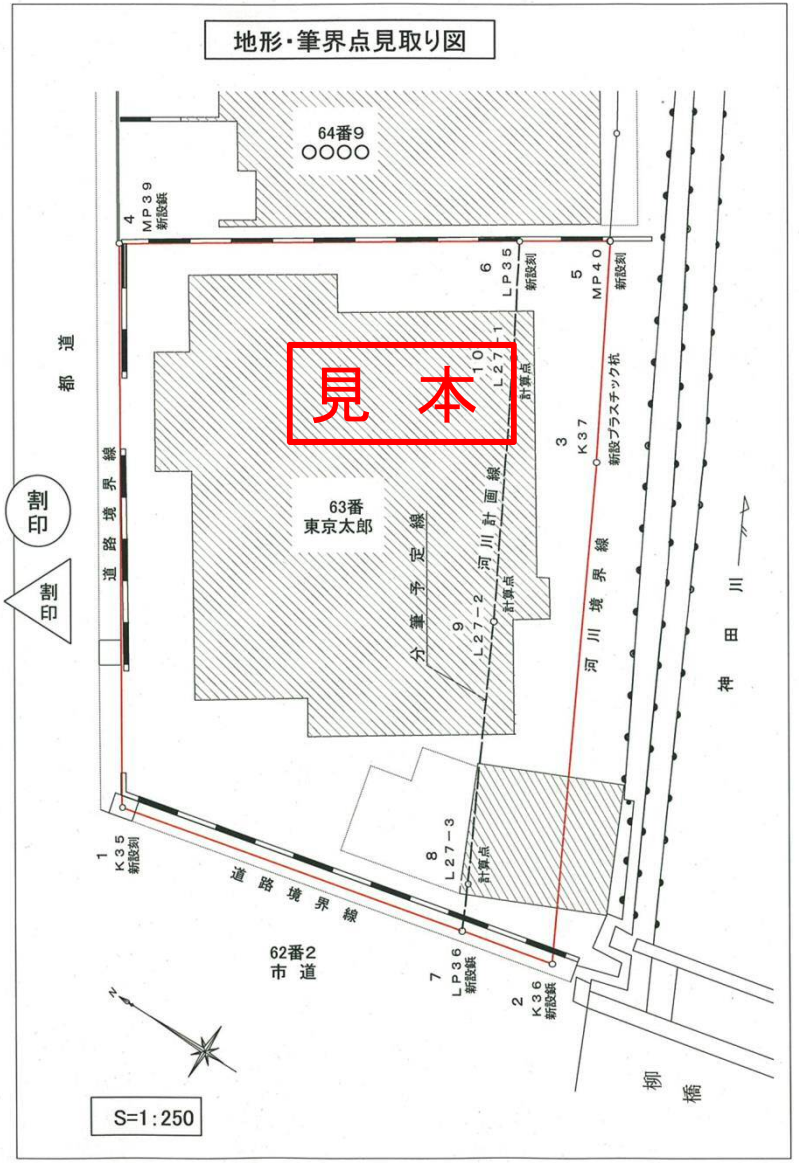
平成　　年　　月　　日

調査　測量者職氏名

東京都〇〇建設事務所工事第〇課測量係

主事　〇〇 〇〇　　印

注1　管理人、代理人が立会いした場合は、その者の住所・氏名を併記して押印する。
　2　この立会証明書と境界を明らかにした図面を合綴した場合は、立会者の契印をする。



見　本

３．境界点の測量

境界立会いで確認された境界点を測量し、位置を特定します。

この測量は、皆様に立会いをお願いすることはありません。

境界点を現地に明示するため、金属鋲やプレートなどを設置させていただく場合があります。

TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT 東京都

４．個々の土地における道路予定地面積の確定

境界点の測量結果に基づき面積の計算を行い、個々の土地における道路予定地の面積を確定します。

TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT 東京都

敷地内への立ち入りについてのお願い

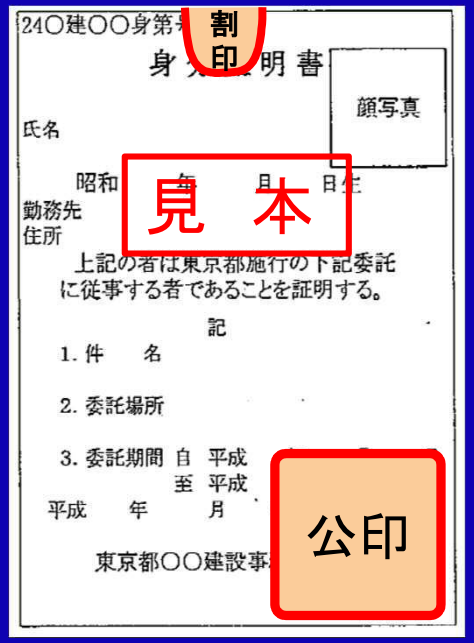
現況測量および用地測量の作業にあたっては、事業予定地周辺の皆様の敷地内へ立ち入らせていただく必要があります。

皆様の敷地に立ち入る際には、必ずお声がけ等をいたしますので、ご協力をお願いいたします。

TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT 東京都

身分証明書と腕章の見本

身分証明書



腕章

測量作業は、東京都が委託した測量会社が行います。

測量にあたっては、身分証明書を常に携帯し、腕章をつけて作業を行います。

今後の事業の流れ

- 事業概要及び測量説明会　　本日実施
- 現況測量の実施　　平成29年7月上旬～12月頃予定
- 栄町二丁目交差点設計
- 用地測量の実施
- 事業認可取得（事業着手）　　平成30年度予定
- 用地説明会
- 用地の取得
- 工事の実施
- 道路完成

概ね1～2年

概ね5～7年

TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT 東京都

皆様のご理解とご協力を
お願いいたします。

東京都

※本日お配りした資料とご覧いただいたスライドは、後日、
北多摩南部建設事務所のホームページに掲載します。